

# 8月のおたより

## お泊り保育?



年長のすみれ組さんが7月22日(水)にお泊り保育を行いました。今回は感染症予防のため「お泊りなし」の日帰り保育です。充実した一日だったと思います。

七ツ釜鍾乳洞では、外と洞窟の中の温度差にびっくり。初めて乗った船は心地よく風を感じながらの船旅。海きららではイルカショーを堪能し、園では「スイカわり」。ワイワイガヤガヤと、「ボディペイント」保育士の洋服も絵の具が一杯。お楽しみ「バーベキュー」子供たちの食べる事食べる事。保護者の方に見せたかったです。デザートに舌鼓。ホールではジェスチャーゲームで盛り上がり、「肝試し」のときは、子どもたちの逃げ足の速いこと速いこと。保育士も追いつきません。最後は、夜空に高く大きな花を開いた花火で締めく



「乳幼児期は人間の基礎を作る大事な時期」

乳幼児期は育児のスタートであり、とても大事な時期。誕生からしばらくの間は、その人間の将来を大きく左右する、特別な意味がある時期だと言えます。

この乳幼児期の育児は、ひとことでいえば、子どもの要求や期待に、できるだけ十分にこたえてあげることです。せんじつめればそれだけのことです。子どもの要求にこたえてあげて、こちらから伝えたいことは、「こうするでしょう、そうしちゃいけないよね。」と、穏やかに何回も繰り返し伝えることです。

ところが育児の失敗と言うのは、[子どもの要求]を、うっかりみのがしたり、あるいはわざとサボタージュしたり、相手の要求を無視してしまうことです。そのくせこちらからの要求や期待ばかりを、すぐに成果があがるように強制的な伝え方をしてしまう。早く結果を出そうとしたり、あるいは大人の方が楽をしようとする。そういう育児は良くないのです。

子どもを育てると言うことは、最高に価値のある、誇りある仕事だと思います。本当に価値のある仕事と言うのは、今の時代と次の時代を生きる人たちが、よりよく生きることが出来るように何をするかということです。次の時代を生きる子供たちに十分に愛される喜びを与えること。人間な青されることから、生きる喜びを感じ始めるのです。

「子供へのまなざし」より 佐々木正美著

七ツ釜鍾乳洞



船楽しかった



イルカのジャンプ



疲れてウトウト



皆でボディペイン



美味しそうでしょう



ジェスチャーゲーム



後は花火大会

